

6.15 全都・全関西・自治会共同行動 の成功にさらなる前進を

5知識人アピールによる共同行動に分裂をもちこんだのは誰か？

—それは「全学連」統一派(民青)諸君に他ならない。

「彼らは、新日本学生協会が参加することを通じ、共同行動を拒否した。」

昨日、「全学連」統一派は、「五知語人アピール」を愚弄した6.15分裂行動の破綻を、見る見出しのビラをだした。

その要旨は、二つだ。

われわれ革新グループが「この統一行動に参加するか否かを、セクト主義でめるか否かの問題にすりかえており、反共攻撃(共産党、民青批判)の二どろろに利用している。だからこの共同行動はタメになりつつある。そして、その批判のために、民青が参加できなくなっている。」と主張している。

しかし、二つを考えておきたい。

彼らは、何故批判されるのか？

それは、彼ら「全学連」統一派(民青)が、そもそもこの五知語人アピールの呼びかけの趣旨そのものに反対し、その共同行動を妨害することになっている。

五知語人アピールの趣旨とは、各種団体の相互の自主性を尊重し、行動の多様性、目的の統一を結びつけ、共同行動をやることで、佐藤内閣と対決し、「国民保健の第一歩」としようとするものである。この当然の正しい趣旨を認めないのをセクト主義と批判されるのは当然だ。彼らは、この趣旨に反対し、「新日本学生協会」が参加するから、共同でやらない」とか、「6.15では、梅美智子さんのイメージが強いから6.30にしてくれ(この問題では、民青の提案に、われわれは譲歩しようとした)などと言って共同行動をぶちこわしているのだ。

彼らは、「参加できなくなっている」のではなくて、「参加する気がない」のだ。

「全学連統一派」諸君、君たちは一度でも統一のために努力したことがあったか？ まびりなりにも、「統一派」というならば、一度ぐらい共同行動の努力をしてもいいだろう。

6.15の斗いに向け、全学的な取組みを開始し、全学的斗争を断片的に成功させよう。



革新グループ

全学区

法学区

医学区